

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2017年4月）

内需持ち直しも輸出は増勢鈍化。引き続き、米国市場失速に伴うメキシコ自動車生産への逆風が強まるリスクに警戒

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 4月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比3.1%減の年率376万台。
- 移動祝日の影響などによる輸出の増勢鈍化が減産の主因。国内販売は消費ムード改善を受け堅調維持。
- 米国新車市場の失速に引き続き要注意。先行きメキシコ自動車輸出への逆風が強まろう。

予想通り4月メキシコ自動車生産は減少したが、内需が意外と堅調であったため減産幅がマイルド

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した2017年4月の総生産台数は、前年同月比3.2%増と11か月連続で前年超えしたが、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比3.1%減の376万台と減少した（図表1）。減産の背景には、宗教祭日による稼働日減少の影響がある。

4月の生産が減少した背景には、メキシコ固有の祝日である *Semana Santa*（キリスト教のイースター（復活祭）までの1週間）の影響がある。太陰暦に従って決められるこの移動祝日は、2016年は3月21日～27日だったが、2017年は4月9日～4月15日の1週間となった。従って、本年4月は昨年同月そして本年3月と比べて稼働日数が少なかったため、その影響が出るかたちで、前年同月比及び季節調整済前月比のパフォーマンスが本年3月より悪化したという特殊要因があったことに留意が必要である。

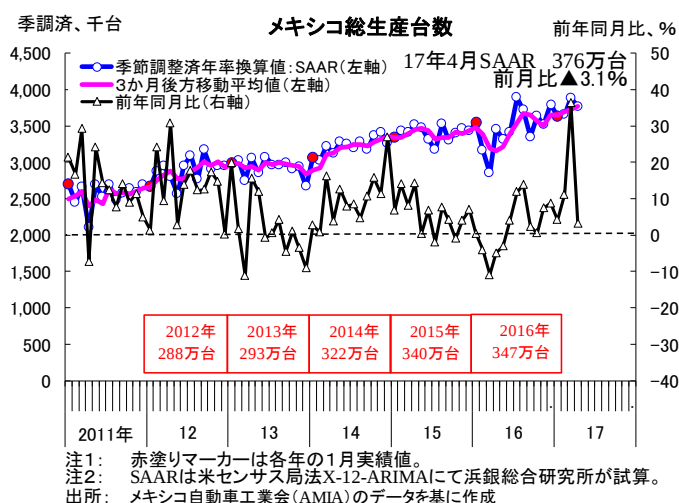
その影響は輸出統計に如実に表れた。4月の総輸出台数は前年同月比16.1%増となったが、輸出台数のSAARは前月比6.6%減の297万台と大きく減少した。もっとも、SAARが16暦年実績の277万台を上回る水準にあるため、特殊要因はあれど結果は堅調であったと言える（図表2）。

しかし、引き続き、主要輸出先の米国で足元の新車販売が失速していることから、近くメキシコの自動車輸出に逆風が吹く可能性が高く、楽観は禁物である。米国の4月の新車販売台数（SAAR）は前月比2.0%増の1,647万台（弊社試算）と増加したが、3か月後方移動平均値でみるトレンドは下落基調が続いている（図表3）。

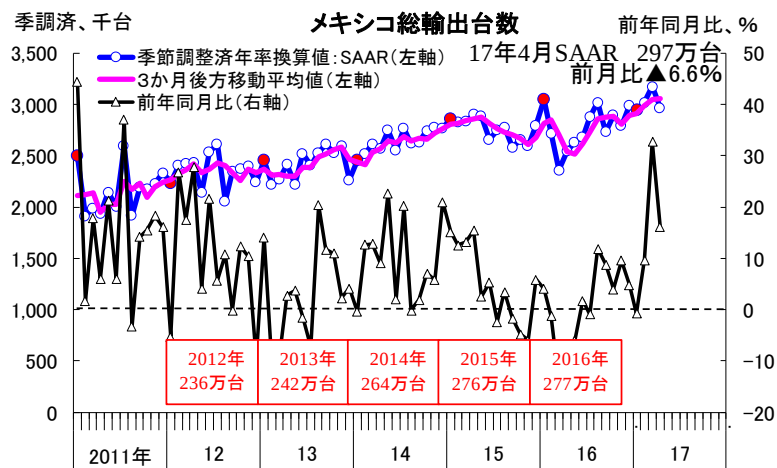
メキシコ国内販売は堅調さを維持している。メキシコの4月の総販売台数は前年同月比3.3%減と36か月ぶりに前年割れとなったが、SAARは前月比2.9%増の166万台と増加した（図表4）。前述の特殊要因があったにもかかわらず、意外にもSAARが増加しており、内需の持ち直しが継続するかに要注目である。なお、直近でSAARが増している背景には消費ムードの改善があると考え（図表5）。

内需持ち直しの継続に期待する一方、米国向け輸出減少のリスクが依然高いことから、メキシコ自動車生産に対する下方圧力が今後強まってくるという見通しに変更はない。

図表1 4月生産台数（SAAR）は減少



図表2 4月輸出台数（SAAR）が大きく減少

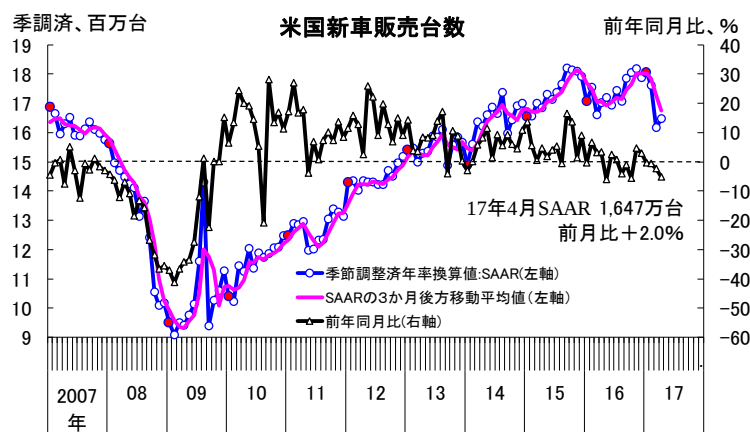


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。

注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。

出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表3 4月米国新車販売は減少基調続く



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。

注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。

出所: Autodata及びBloombergのデータより作成

図表4 メキシコ国内販売（SAAR）は4月持ち直し

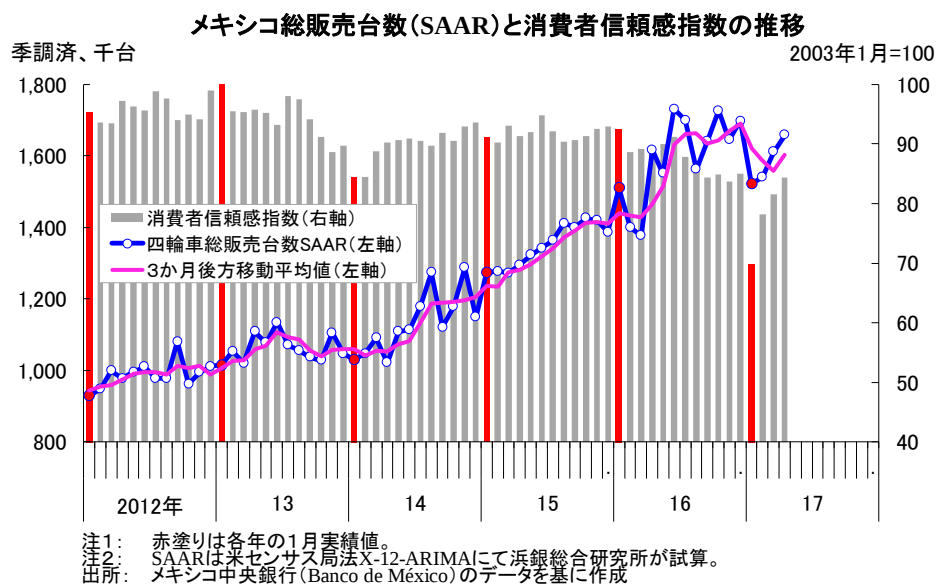


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。

注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。

出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表5 消費ムードの改善が内需持ち直しの背景に



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。